

大学の研究シーズを事業へ

宮崎ベンチャーファウンダリーの挑戦

研究成果を「事業」として育てる

宮崎ベンチャーファウンダリー(MVF)は、宮崎大学の研究・技術を起点に、市場や社会の課題との接点を見だし、事業化の可能性を評価。新しい事業・大学発ベンチャーの創出へつなげる取り組みです。

研究から事業までを、ひとつのプロセスとして



宮崎大学 × Imari Partners

大学の「研究する力」と、ベンチャーキャピタルの「事業をつくり、育てる力」を組み合わせます。

宮崎大学 研究シーズ・技術・知財
継続的な研究・開発

× Imari Partners 市場性・事業性評価
事業モデル／財務・資本・経営

現在の重点領域

スマート農業・スマート畜産

農学・獣医学・工学の研究シーズと、AI・ロボティクス・IoT等を組み合わせ、生産現場の課題解決につながる事業化を検討しています。

PRESENTER

ジュセツペ 小林

Imari Partners

創業者／ゼネラルパートナー

日本・アジア太平洋を中心に、シリコンバレーのテクノロジーベンチャー16社の現地法人立ち上げ、国内ベンチャー・米国上場企業11社の事業再生、海外企業14社の日本事業戦略・事業開発を支援。2001年にはUS\$300MのグローバルファンドをGPとして立ち上げ。

MVF CONTACT 担当:倉田倫子 | michiko.kurata@imaripartners.com